MAIL MAGAZINE

メールマガジン

フブ・服部の中国通信

夢の実写化です!?



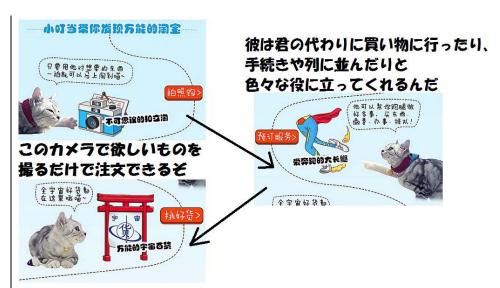
なんと日本のアニメ、ドラえもんが中国で実写映画化されるそうです!!

タイトルは "拜托了,小叮当" 日本語に訳すとすれば 「お願い、ドラえもん」でしょうか??

なんでも日本で放送されているアニメより数年後のお話らしいのですが、おなじみの公園 の土管、登場人物の四人など「なかなか再現度高いじゃない♪」と眺めていると…

あれ?? どうやらドラえもん、本当の猫になってしまったようです… 鳥居?? いやそれより土管の左で華麗にポーズを決めている このウルトラマンみたいなのは、だれ???

なにやら香ばしい匂いがプンプンしてまいりました。 色々な意味で面白そうなので公式の紹介ページを少々調べてみたところ



全宇宙のいいものは全てこの中にあるぞ

↑すこし日本語の訳もつけてみましたが、どうやらこの猫はやはりドラえもんで、 いわゆる秘密道具は鳥居の中からでてくるようです。と、なると・・・



ウルトラマンのような彼?のエプロンにも鳥居にあるのと同じマークがあるので、カメラ で発注する鳥居型商店の関係者か何かでしょうか。

この彼の正体は?登場人物はその後どうなっているのか?そもそもこの設定で版権を 取れているのか?

謎が謎を呼ぶ実写版ドラえもん、子供たちに「夢」を与える作品となるのか、原作ファンに悪「夢」を植えつける原作テロとなるのか。この夢の実写化にはしばらく注目して みたいと思います。

なお、実はこの映画、提供先は「モバイルタオバオ」という中国の大手インターネットショッピングモールサイトなのだそうです。この「モバイルタオバオ」と作中の何でも揃う鳥居型商店を結びつけ、自社の宣伝をしたいのかな? などと勘ぐってしまう私は下衆です。すみません(笑)

魅惑のミニチュア灯篭たち

先日、お客様のご要望もあり 恵安の小物彫刻店街 を回ってきました。久しぶりに行った のですがなかなかのものです。イチ石好きとして心躍るものがありました。

皆様中国の経済発展に伴い、玉や瑪瑙で作った高級彫刻がよく売れたのか大変儲かっているようで、店構えも数年前と比べて立派になっていました。

しかし、ありがたいことに小物の彫刻も定番商品はなかなかのクオリティーを保って おります。



どうです? 中々のものでしょう?

寸法的には高さ 5~6 寸程度からでも十分しっかりした造形ができていました。我々が お地蔵様等で普段使用している彫刻工場では出来ない加工です。使用する工具が違います。 ぜひ一度どうやって加工しているのか、加工現場を見学したいものです。純粋な興味なの で弊社の偉い人に「見に行ってきます!」と言う度胸はありませんが(笑)

「同行してやるから案内しろ」などと言って頂けると弊社の偉い人からの許可も降りやすいのでよろしければぜひ(笑)

さて、冗談はさておきこれらのミニチュア彫刻、小さいのでさすがに使用する石は限定されます。ほぼ G612 等で工場が在庫を持っており、細目で粘り気のある石に限られます。 クンナムで作れ! と言われると困ってしまいます(笑) ただし、そういった基準を守りさえすれば価格的にはそう高くありません。

お店のインテリアにでもいかがでしょう? 時々子犬のような目をした弊社の若い衆が お邪魔することがあると思いますが、よろしければお付き合いがてらお買い上げ頂ければ、 より一層働くと思います(笑) モノはお勧めできるだけの出来です。よろしければぜひ!

それでは今月はこのあたりにさせていただこうかと思います。 また来月お会いしましょう。再見

2015/10/01 服部(偉い人が怖いので残業して作成中)